

DLPEの認知症予防効果

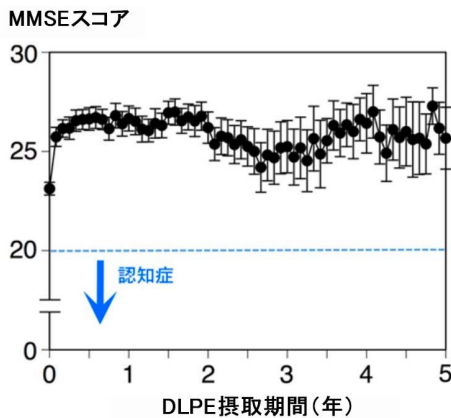
介入を伴わない「**観察研究**」結果

DLホスファチジルエタノールアミン (DLPE) を毎日、継続して服用した軽度認知障害 (認知症予備軍) 41 症例に対して3~7年の追跡調査を行いました。

年齢は59歳から89歳(平均77歳)で、男性18名、女性23名でした。

41例中35名(85%)において、MMSEスコア(満点が30点で、19点以下が認知症)は調査開始時から3年以上経っても20点以上の正常範囲を維持し、海馬を含めた脳萎縮の明らかな進行も認められませんでした。

この結果は、DLPEが認知症予防に極めて有効であるということを示しています。



軽度認知障害41症例の経過

年齢/性別	MMSEスコア	脳萎縮の進行	年齢/性別	MMSEスコア	脳萎縮の進行
74歳/男性	21点(初診) 30点(7年後)	-	75歳/女性	21点(初診) 27点(4年後)	-
80歳/女性	22点(初診) 28点(7年後)	-	59歳/女性	24点(初診) 5点(3年後)	+
81歳/女性	26点(初診) 29点(7年後)	-	71歳/男性	22点(初診) 27点(3年後)	-
75歳/男性	26点(初診) 29点(6年後)	-	81歳/女性	23点(初診) 27点(3年後)	-
74歳/女性	20点(初診) 30点(6年後)	-	72歳/女性	26点(初診) 30点(3年後)	-
70歳/男性	21点(初診) 27点(6年後)	-	78歳/男性	22点(初診) 14点(3年後)	+
75歳/男性	22点(初診) 29点(6年後)	+ (軽度)	78歳/女性	20点(初診) 15点(3年後)	+
74歳/男性	24点(初診) 24点(5年後)	-	81歳/男性	24点(初診) 30点(3年後)	-
69歳/女性	21点(初診) 14点(5年後)	+	83歳/女性	26点(初診) 29点(3年後)	-
76歳/女性	25点(初診) 26点(5年後)	-	81歳/女性	26点(初診) 18点(3年後)	+
71歳/男性	23点(初診) 29点(5年後)	-	86歳/女性	24点(初診) 29点(3年後)	-
77歳/女性	23点(初診) 26点(5年後)	-	84歳/女性	23点(初診) 28点(3年後)	-
82歳/女性	22点(初診) 18点(5年後)	+	76歳/女性	21点(初診) 30点(3年後)	-
80歳/男性	20点(初診) 28点(4年後)	-	86歳/男性	22点(初診) 29点(3年後)	-
72歳/男性	20点(初診) 28点(4年後)	-	76歳/女性	25点(初診) 26点(3年後)	-
78歳/男性	25点(初診) 30点(4年後)	-	80歳/男性	25点(初診) 27点(3年後)	-
83歳/女性	21点(初診) 30点(4年後)	-	89歳/男性	22点(初診) 27点(3年後)	-
81歳/男性	24点(初診) 30点(4年後)	-	85歳/女性	22点(初診) 24点(3年後)	-
61歳/女性	26点(初診) 29点(4年後)	-	74歳/男性	23点(初診) 24点(3年後)	-
85歳/女性	25点(初診) 25点(4年後)	-	78歳/男性	22点(初診) 21点(3年後)	-
78歳/女性	21点(初診) 24点(4年後)	-			

症例A

74歳男性のAさんは、物忘れが気になるということで、私の診察に訪れました。

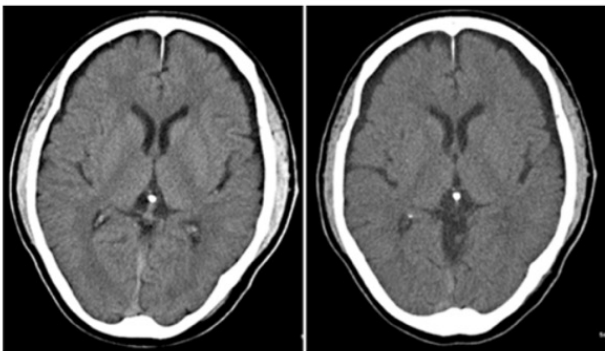
初診時のMMSEスコアは21点でした。

頭部CT上、軽度の前頭葉脳萎縮がありましたが、血管性病変、脳室拡大などの異常所見はありませんでした。

軽度認知障害の診断のもとに、AさんはDLPEの摂取を始めました。

DLPEの摂取を開始して1ヶ月後にはもの忘れが気にならなくなったそうです。

7年後のMMSEスコアは30点（満点）で、頭部CTでも脳萎縮の進行はほとんどありませんでした。



（初診時）MMSE21点（7年後）MMSE30点

症例B

74歳女性のBさんは、主人の介護で精神的にも肉体的にも疲れ、意欲がなくなり、外出もほとんどしなくなったということで、私の診察に訪れました。

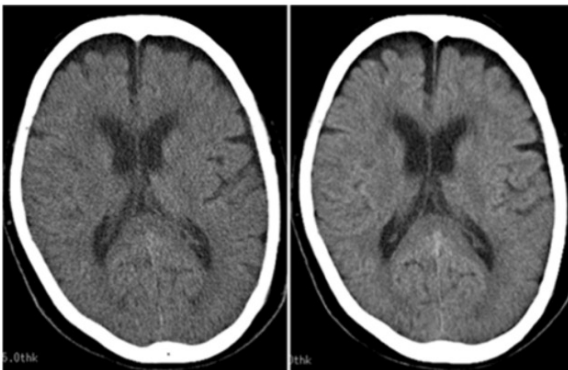
初診時のMMSEスコアは20点でした。

頭部CT上、軽度の前頭葉萎縮がありましたが、血管性病変、脳室拡大などの異常所見はありませんでした。

軽度認知障害の診断のもとに、BさんはDLPEの摂取を始めました。

DLPE摂取を開始して数ヶ月後には意欲が出てきて、精神的にも元気になりました。

6年後のMMSEスコアは30点（満点）で、頭部CTでも脳萎縮の進行はありませんでした。



（初診時）MMSE20点（6年後）MMSE30点

症例C

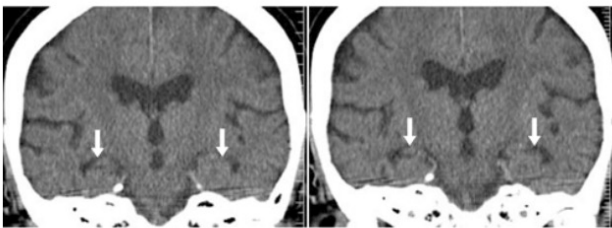
80歳女性のCさんは、明るい性格で話し好きの方でしたが、最近、ついさっきしたことや言われたことを忘れるということで 家族の方が私の外来へ連れてこられました。

初診時のMMSEスコアは22点でした。

頭部CT上、海馬の萎縮は正常範囲で、他に特記すべき異常所見はありませんでした。

軽度認知障害の診断のもとに、CさんはDLPEの摂取を始めました。

DLPEの摂取を開始して7年後のMMSEスコアは28点とアップし、頭部CTでも海馬の萎縮はほとんど進行していませんでした。



(初診時) MMSE22点 (7年後) MMSE28点

症例D

81歳女性のDさんは、特に自覚症状はありませんでしたが、認知症になるのが心配ということで、私の診察に訪れました。

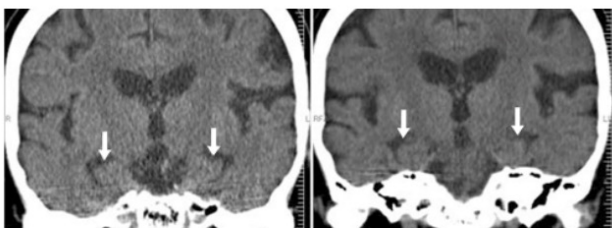
Dさんは主人が亡くなった後、高齢者マンションにお住いで、エアロビクス、囲碁教室などのサークルに積極的に参加されている方です。

初診時のMMSEスコアは26点でした。

頭部CT上、海馬の萎縮は正常範囲で、他に特記すべき異常所見はありませんでした。

軽度認知障害の診断のもとに、DさんはDLPEの摂取を始めました。

DLPEの摂取を開始して7年後のMMSEスコアは29点とほぼ満点になり、頭部CTでも海馬の萎縮はまったく進行していませんでした。



(初診時) MMSE26点 (7年後) MMSE29点

症例E

75歳男性のEさんは、最近、何か忘れっぽくなったということで私の診察に訪れました。

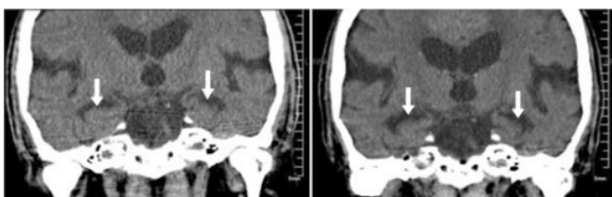
Eさんは奥さんが亡くなった後、一人暮らしをしていて、自分の身の回りのこと、食事の用意もすべてご自身でやられていました。

初診時のMMSEスコアは22点でした。

頭部CT上、軽度の海馬萎縮を認めましたが、他の特記すべき異常所見はありませんでした。

軽度認知障害の診断のもとに、EさんはDLPEの摂取を始めました。

DLPEの摂取を開始して6年後の頭部CTでは海馬の萎縮が少し進行していましたが、MMSEスコアは29点とアップし、今でも介助なしにご自宅で生活されています。



(初診時) MMSE22点 (6年後) MMSE29点

症例F

81歳男性のFさんは、特にもの忘れの症状はありませんでした。

認知症であった奥さんを私が診察させていただいていましたが、ある時に、家族の方が「ついでにFさんの診察もしてほしい」と希望されました。

Fさんは会社経営者で、絶えず海外への出張があり英語も堪能な方です。

初診時のMMSEスコアは24点でした。

頭部CT上、海馬の萎縮は正常範囲で、他の特記すべき異常所見もありませんでした。

軽度認知障害の診断のもとに、FさんはDLPEの摂取を始めました。

DLPEの摂取を開始して4年後のMMSEスコアは30点（満点）で、頭部CTでも海馬の萎縮は進行していませんでした。



(初診時) MMSE24点 (4年後) MMSE30点